

26年3月期 第3四半期 連結業績について

2026年1月30日

Copyright © SCSK Corporation

26年3月期 第3四半期連結業績

- ・ 業績概要(PL・受注高・受注残高)
- ・ (参考)業績概要 プロフォーマ
- ・ 売上高の増減
- ・ 営業利益の増減分析
- ・ 受注高・受注残高の増減
- ・ セグメント別業績(売上高・営業利益・営業利益率)
- ・ セグメント別業績(受注高・受注残高)
- ・ セグメント別業績 増減分析
- ・ 当社株式に関するスケジュール

Appendix

- ・ 業績概要(PL・受注高・受注残高)第3四半期期間
- ・ (参考)業績概要 プロフォーマ 第3四半期期間
- ・ 26年3月期 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)
- ・ 26年3月期 業種別売上高

26年3月期 第3四半期決算 業績概要(PL・受注高・受注残高)



	25年3月期	26年3月期	増減額	増減率
売上高	384,840	563,092	178,252	46.3%
売上総利益	102,564	154,322	51,757	50.5%
売上総利益率	26.7%	27.4%	0.8%	
販売管理費	△ 59,139	△ 93,681	△ 34,542	58.4%
その他収益及び費用	△ 530	2,272	2,803	
営業利益	42,894	62,913	20,018	46.7%
営業利益率	11.1%	11.2%	0.0%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	29,798	50,282	20,483	68.7%
EBITDA※	59,432	89,112	29,680	49.9%
受注高	370,190	538,653	168,462	45.5%
受注残高	282,412	289,733	7,320	2.6%

※EBITDA:営業利益+減価償却費及び償却費

Copyright © SCSK Corporation 2

- 26年3月期 第3四半期の連結業績は、増収増益の決算
四半期利益は、アルゴグラフィックスの株式売却益計上の影響あり

(参考)26年3月期 第3四半期決算 業績概要 プロフォーマ



(単位:百万円)

	25年3月期				26年3月期				増減額 (B-A)	増減率
	SCSK	ネットワン システムズ	統合関連費用等 (PPA含む)	合計(A)	SCSK	ネットワン システムズ	統合関連費用等 (PPA含む)	合計(B)		
売上高	384,840	155,643	—	540,483	402,156	160,936	—	563,092	22,609	4.2%
売上総利益	102,564	40,280	—	142,845	111,760	42,561	—	154,322	11,476	8.0%
売上総利益率	26.7%	25.9%		26.4%	27.8%	26.4%		27.4%	1.0%	
販売管理費	△ 58,039	△ 26,687	△ 1,100	△ 85,826	△ 62,750	△ 25,419	△ 5,511	△ 93,681	△ 7,854	9.2%
その他収益及び費用	△ 530	385	—	△ 145	433	1,838	—	2,272	2,418	
営業利益	43,994	13,978	△ 1,100	56,872	49,444	18,980	△ 5,511	62,913	6,040	10.6%
営業利益率	11.4%	9.0%		10.5%	12.3%	11.8%		11.2%	0.7%	

Copyright © SCSK Corporation 3

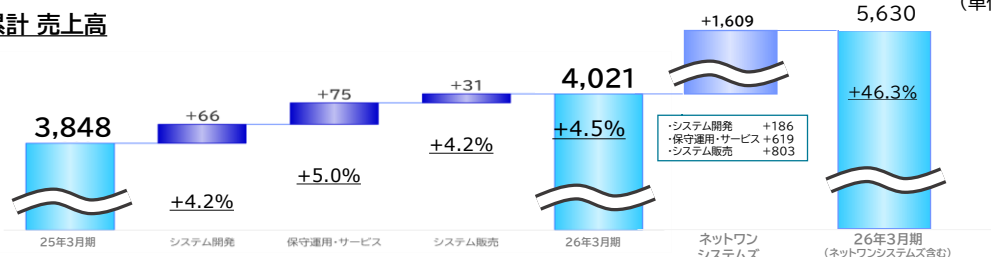
➤ SCSK、ネットワンシステムズともに統合関連費用を吸収し、増収・増益、営業利益率向上

26年3月期 第3四半期決算 売上高の増減

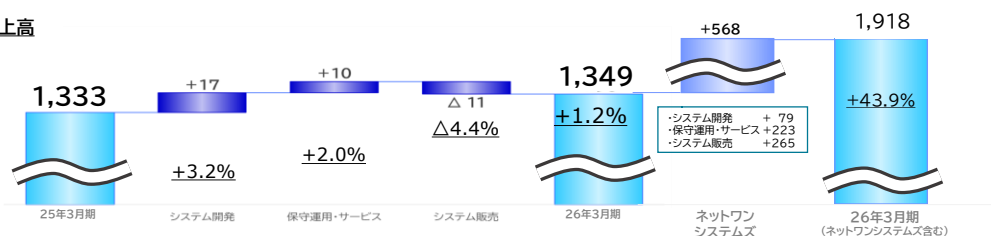
SCSK

3Q累計 売上高

(単位:億円)



3Q 売上高



Copyright © SCSK Corporation 4

3Q累計売上高におけるコメント

【SCSK】

- システム開発: 流通業向け案件の反動減があったが、製造業向けの開発案件や通信業向けの案件等が増加
- 保守運用・サービス: マネジメントサービスやクラウドサービス、データセンターが堅調に推移したこと、また、EC事業における新規連結の加算分により増加
- システム販売: 特定顧客向けのプロダクトの選別によるネットワーク機器販売の減少があったが、セキュリティ製品販売や大型ハードウェア販売等により増加

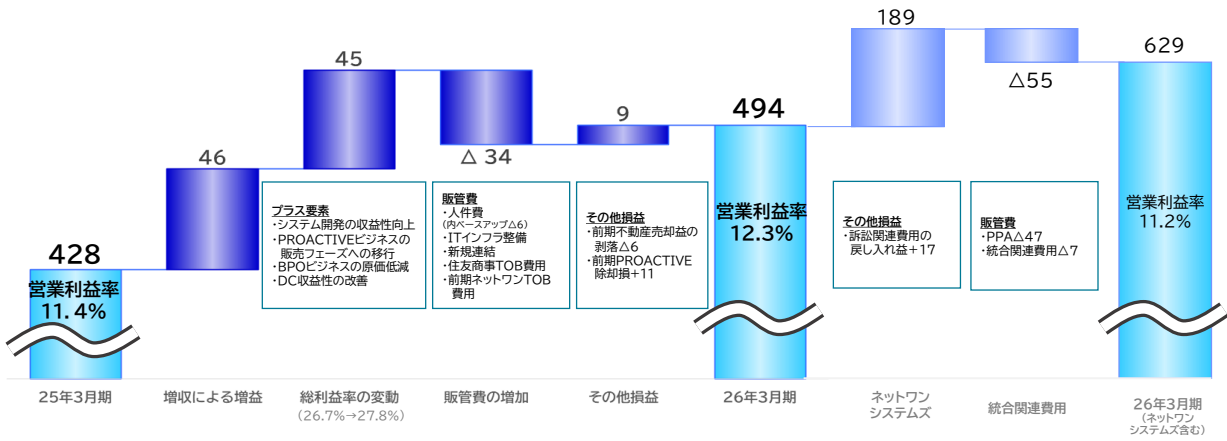
【ネットワンシステムズ】

- 自治体を中心にパブリックセグメントが伸長

26年3月期 第3四半期決算 営業利益の増減分析



(単位:億円)

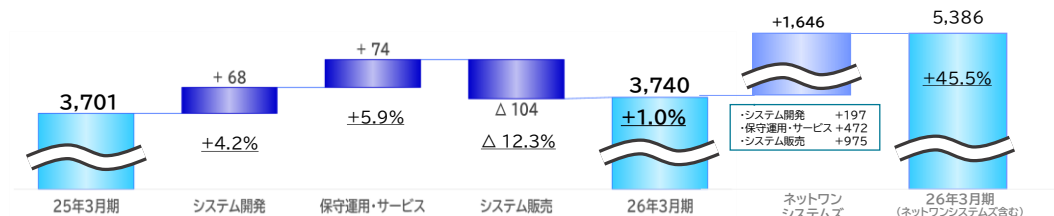


26年3月期 第3四半期決算 受注高・受注残高の増減

SCSK

受注高

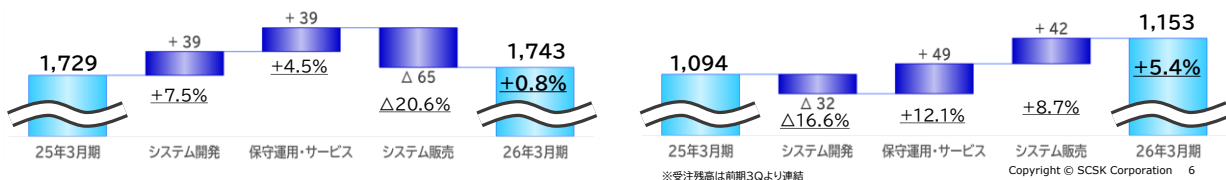
(単位:億円)



受注残高

(SCSK)

(ネットワンシステムズ)



【SCSK 受注高/受注残高】

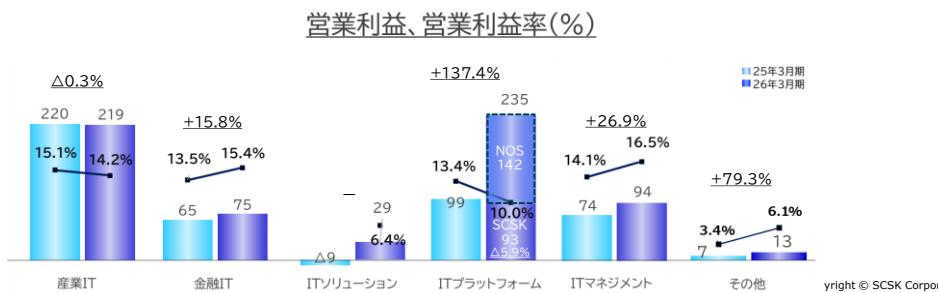
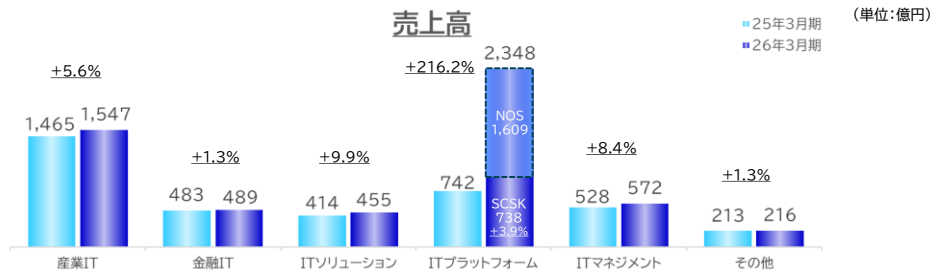
- システム開発:流通業や証券業の反動減、生損保業向け開発案件の契約期間のズレが減少要因となったが、製造業や通信業向けのシステム構築案件を中心に増加
- 保守運用・サービス:検証サービスの伸び率が低減傾向にあるが、マネジメントサービスやデータセンター事業が堅調に推移したこと、EC事業の新規連結の積み上げにより増加
- システム販売:セキュリティ製品が増加したが、通信業の特定顧客向けのプロダクトの選別によるネットワーク機器販売の減少や大型HW販売が減少

【ネットワンシステムズ 受注残高】

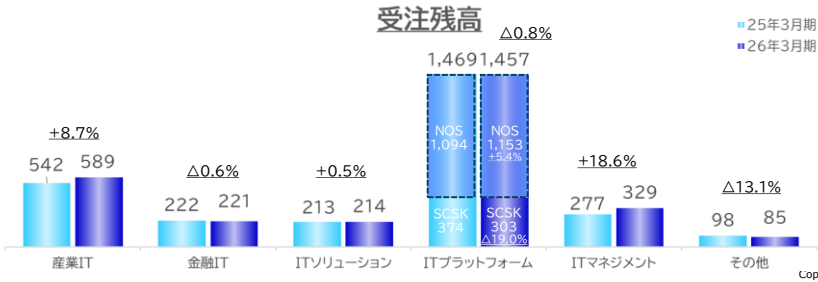
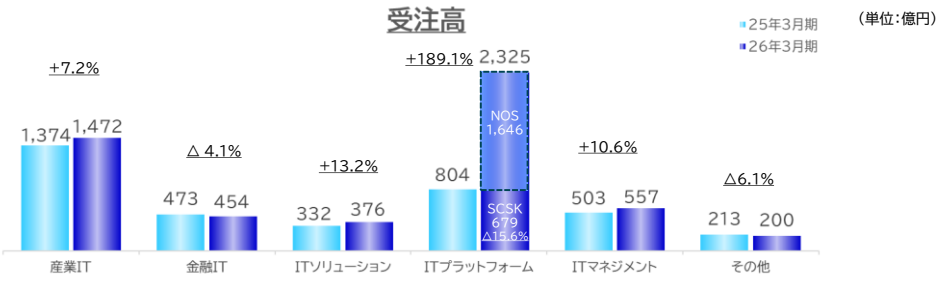
- システム開発:パブリックセグメントで前期に受注を拡大した自治体案件を順調に売り上げたこと等により減少
- 保守運用・サービス:パブリックセグメントやパートナーセグメントにおいて、マネージドサービスや保守サービスを中心に増加
- システム販売:エンタープライズセグメントで金融業の大型案件を受注したこと、また、パートナーセグメントで主要パートナー企業との協業が好調に推移したこと等により増加

※前期3Q決算よりネットワンシステムズの受注残高を取り込んでおります。

26年3月期 第3四半期決算 セグメント別業績(売上高・営業利益・営業利益率)



26年3月期 第3四半期決算 セグメント別業績(受注高・受注残高)



26年3月期 第3四半期決算 セグメント別業績 増減分析



セグメント	売上高	営業利益	受注高・受注残高
産業IT	(+)自動車業向け戦略的投資需要 (+)デジタルサプライチェーン案件の増加 (+)通信業向け案件の拡大 (-)流通業向け案件の減少	(+)デジタルサプライチェーン案件の寄与 (+)通信業向け案件の拡大 (-)流通業向け案件の減少 (-)検証サービスにおける投資低減	(+)電機業、自動車業、通信業向け案件の増加 (-)流通業向け案件の減少 (-)検証サービスにおける投資低減
金融IT	(+)銀行業向けシステム開発案件の拡大	(+)連結子会社の業績改善 (+)銀行業、生損保業向け案件の採算性向上	(-)信販・リース業向け案件の減少
ITソリューション	(+)新規連結によるEC関連案件の増加 (+)PROACTIVE事業の拡大	(+)新規連結によるEC関連案件の増加 (+)PROACTIVE事業の収益性改善、前期除却損の反動増 (+)BPOビジネスの採算性向上	(+)新規連結によるEC関連案件の増加 (+)PROACTIVE事業からの案件の増加

※(+):増加要因 (-):減少要因

Copyright © SCSK Corporation 9

26年3月期 第3四半期決算 セグメント別業績 増減分析



セグメント	売上高	営業利益	受注高・受注残高
ITプラット フォーム	(+)複数の業種向けセキュリティ製品販売の増加 (+)新規連結によるシステム販売の増加 (-)通信業の特定顧客向けの機器販売減少		(+)新規連結によるシステム販売の増加 (-)通信業の特定顧客向け機器販売減少 (-)自動車業向け機器販売減少
IT マネジメント	(+)マネジメントサービスの増加 (+)クラウドサービスの増加 (+)データセンタービジネスの増加	(+)クラウドサービスの寄与 (+)データセンタービジネスの収益性改善	(+)マネジメントサービスの需要増加 (+)データセンタービジネスの増加
その他	(+)SCSK Minoriソリューションズのシステム開発案件増加 (-)電力・ガス業向け案件減少	(+)セールスマックスの改善	(+)SCSK Minoriソリューションズのシステム販売案件増加 (-)電力・ガス業向け案件減少

※(+):増加要因 (-):減少要因

Copyright © SCSK Corporation 10

当社株式に関するスケジュール



<公開買付けの状況>

- 2025年10月29日に公表した、当社の親会社である住友商事(株)の子会社であるSCインベストメンツ・マネジメント(株)による、当社株式に対する公開買付けの結果、住友商事は当社株式の88.63%を保有(間接保有を含む)し、本公開買付けは成立
- 2月9日に開催予定の臨時株主総会における株式併合議案の可決をもって、当社は3月16日に住友商事(株)の完全子会社となる予定

<今後のスケジュール>



Appendix

26年3月期 第3四半期決算 業績概要(PL・受注高・受注残高) 第3四半期期間



(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額	増減率
売上高	133,316	191,813	58,496	43.9%
売上総利益	36,695	53,174	16,479	44.9%
売上総利益率	27.5%	27.7%	0.2%	
販売管理費	△ 20,749	△ 32,235	△ 11,485	55.4%
その他収益及び費用	△ 10	366	377	
営業利益	15,936	21,306	5,370	33.7%
営業利益率	12.0%	11.1%	△0.8%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	10,560	14,667	4,106	38.9%
EBITDA※	21,455	29,954	8,499	39.6%
受注高	122,310	174,544	52,233	42.7%
受注残高	282,412	289,733	7,320	2.6%

※EBITDA:営業利益+減価償却費及び償却費

Copyright © SCSK Corporation 13

(参考)26年3月期 第3四半期決算 業績概要 プロフォーマ 第3四半期期間



(単位:百万円)

	25年3月期				26年3月期				増減額 (B-A)	増減率
	SCSK	ネットワン システムズ	統合関連費用 (PPA含む)	合計(A)	SCSK	ネットワン システムズ	統合関連費用 (PPA含む)	合計(B)		
売上高	133,316	54,823	—	188,139	134,965	56,847	—	191,813	3,673	2.0%
売上総利益	36,695	14,044	—	50,739	38,553	14,621	—	53,174	2,435	4.8%
売上総利益率	27.5%	25.6%		27.0%	28.6%	25.7%		27.7%	0.8%	
販売管理費	△ 19,649	△ 9,425	△ 1,100	△ 30,175	△ 21,482	△ 8,752	△ 1,999	△ 32,235	△ 2,060	6.8%
その他収益及び費用	△ 10	125	—	115	316	50	—	366	251	
営業利益	17,036	4,743	△ 1,100	20,679	17,386	5,919	△ 1,999	21,306	626	3.0%
営業利益率	12.8%	8.7%		11.0%	12.9%	10.4%		11.1%	0.1%	

26年3月期 第3四半期決算 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)



システム開発(下段:第3四半期期間)

(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額	増減率	【参考】 26年3月期 (NOS)
売上高	158,804	184,116	25,311	15.9%	18,667
	54,968	64,649	9,681	17.6%	7,943
受注高	160,148	186,717	26,568	16.6%	19,767
	50,898	60,093	9,195	18.1%	5,172
受注残高	72,293	72,956	663	0.9%	16,570

- 売上高
 - ・通信業や製造業向けのシステム開発案件の増加
 - ・流通業向け案件の反動減
- 受注高・受注残高
 - ・通信業や電機業向けのシステム開発案件を中心に増加
 - ・流通業、証券業向け案件の反動減

※コメントは、ネットワンシステムズ分の増減要因を除く。
前期3Q決算よりNOS受注残高を取り込んでいる。

26年3月期 第3四半期決算 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)



保守運用・サービス(下段:第3四半期期間)

(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額	増減率	【参考】 26年3月期 (NOS)
売上高	150,463	219,917	69,453	46.2%	61,949
	52,475	75,871	23,396	44.6%	22,337
受注高	125,647	180,350	54,703	43.5%	47,289
	39,700	57,369	17,668	44.5%	15,249
受注残高	130,021	138,983	8,961	6.9%	46,137

- 売上高
 - ・新規連結によるEC関連案件の増加
 - ・マネジメントサービスやクラウドサービス、データセンターの増加
- 受注高・受注残高
 - ・新規連結によるEC関連案件の増加
 - ・マネジメントサービスやデータセンターの増加

※コメントは、ネットワンシステムズ分の増減要因を除く。
前期3Q決算よりNOS受注残高を取り込んでいる。

26年3月期 第3四半期決算 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)



システム販売(下段:第3四半期期間)

(単位:百万円)

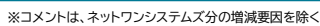
	25年3月期	26年3月期	増減額	増減率	【参考】 26年3月期 (NOS)
売上高	75,572	159,059	83,487	110.5%	80,319
	25,872	51,291	25,419	98.2%	26,565
受注高	84,395	171,585	87,189	103.3%	97,592
	31,711	57,080	25,369	80.0%	33,847
受注残高	80,097	77,793	△ 2,304	△2.9%	52,683

- 売上高
 - ・電機業、流通業、運輸業向けセキュリティ製品販売の増加
 - ・学术研究機関や自動車業向けハードウェア販売、公共事業向け製品販売の増加
 - ・通信業の特定顧客向け機器販売の減少
- 受注高
 - ・電機業、流通業、運輸業向けセキュリティ製品販売の増加
 - ・学术研究機関向けハードウェア販売の増加
 - ・通信業の特定顧客向け機器販売や自動車業向けハードウェア販売の減少
- 受注残高
 - ・学术研究機関向けハードウェア販売の増加
 - ・通信業の特定顧客向け機器販売や自動車業向けハードウェア販売の減少

※コメントは、ネットワンシステムズ分の増減要因を除く。
前期3Q決算よりNOS受注残高を取り込んでいる。

Copyright © SCSK Corporation 17

SCSK



< 当資料利用上の留意点 >

- ・売上高前期比較(業種別)については、一部計上業種の見直しを行ったことにより、前年度の業種別売上金額を組み替えております。
- ・セグメント別業績については、当期にセグメント区分の変更を行っていることから、前年度の実績についても、変更後のセグメント区分に組み替えております。
- ・記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。また、%は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

2026.01.23	SCSK、次世代ロボット開発の『AIRoA』に参画、フィジカルAIによる現場自律化を加速 ～デジタル空間とフィジカル空間の協調に向けた概念検証を開始～
2026.01.16	Well-Being経営の指標と最新分析結果を公開 ～「働きがい」を生み出すメカニズムを解明し、社会全体のWell-Being創出へ～
2025.12.18	SCSK、BigIDと国内初のディストリビューター契約を締結 ～AI時代のデータガバナンスを強化し、企業のリスク低減を支援～
2025.12.17	設備工事業界向け新プラットフォーム「BuildIn」実証実験開始 ～納期情報を一元管理する納期情報共有プラットフォーム～
2025.12.16	SCSKと日経リサーチ、脱炭素化とサステナブル経営の一体支援で協業「CO×CO カルテ」と「日経サステナブルリンク」をサービス提携
2025.12.15	アパレルECのクリエイティブ制作を効率化し、CX向上に貢献する法人向け画像生成サービス「MIM for Business」提供開始
2025.12.12	SCSK、AWS提唱の「AI駆動開発ライフサイクル(AI-DLC)」活用推進プロジェクトを始動 ～AIセントリックアプローチで、AI駆動型開発をさらに進化
2025.12.11	SCSKとFPTジャパン、レガシーシステムの課題解決に貢献する「COBOL PARK」を設立、事業を開始
2025.11.28	CO×COカルテ、国際規格ISO14064-3に基づく妥当性評価を完了 ～会計データだけで”国際基準の信頼性”を持つ排出量算定を実現～
2025.11.17	LGBTQに関する取り組み指標「PRIDE指標」で最高位「ゴールド」を8年連続受賞
2025.11.17	三井住友信託銀行の新たなインターネットバンキングアプリを開発 ～フィッシング詐欺に対応したFIDO認証を活用したセキュアなスマホアプリの実現～
2025.11.14	SCSKとキンドリルジャパン、国産メインフレームからIBM社製メインフレームへの自動変換ソリューションを共同開発 継続的なメインフレーム活用を支援し、高い信頼性、セキュリティ、拡張性を提供
2025.11.13	国内企業におけるSASE実態調査2025年最新版を公表 ～高評価SASEの鍵は「運用負荷の軽減」、初の満足度調査で判明～
2025.11.12	子育て・不妊治療と仕事の両立支援に積極的に取り組む企業として、「プラチナくるみんプラス」認定を取得

